



▲別ショットの写真

今月の表紙は、10月6日に町民会館南側の休耕田に咲いたコスモスを見学に訪れた、大草保育園の園児たちです。8月に4Hクラブ（農業青年クラブ）と一緒に大草保育園の園児たちが種まきをしたものが咲きました。一面に広がるコスモスと記念の1枚。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111(内線334)
FAX63-5139

こたの民話 『田植え観音』

むかし、六栗に一人のおばあさんが住んでいました。このおばあさん、とても信心深い人で、毎日、近くの観音寺にお参りしていました。

今年も、となり近所は、もうすっかり田植えがすんだというのに、このおばあさんの家の田んぼだけは、まだ田植えがすんでいませんでした。

「やれやれ、この年になると、田植え仕事はきつい。娘も息子もない。だれか手伝ってくれたらいい。」

とため息をつきつつ、重い手つきで田植えをしていました。

とその時です。

「はい、おじゃましますよ。田植えを手伝いますよ。」

と、一人のおばあさんが、手伝ってくれました。

「一人より二人、重い荷物も二人で担げば軽いと言いますよ。」

こんなことをいいながら、せつせと手伝ってくれるではありませんか。広い田んぼもあっという間に終わってしまいました。田植えがすんだかと思うと、

「はい、おじゃましたね。はい、おいとましますよ。」

そう思ったかと思うと、そばの、松の木にぱっと飛び上がり、おばあさんの姿が、見えなくなりました。

その晩のことです。おばあさんは、昼間の田植え仕事のつかれから、うつらうつらしていました。

するときらきらと光り輝くりっばな人が現れました。

「これ、ばばよ。われは観音寺の観音ぼさつである。お前は毎日お参りを欠かさず感心である。今日は、ばば一人での田植えは大変だなと思ったのによって、手伝った。仏を信じる心、いつまでもなくすでないぞ。」

とおっしゃるではありませんか。

おばあさんは、夜が明けるとすぐ、観音寺への道を急ぎました。見ると観音様の足に、田んぼの泥がついているではありませんか。

おばあさんは改めて手を合わせ、うれし涙を流し、いっそうお参りを続けたということです。

【こたの民話 より】

みんなの作品展!

第19回 読書感想画展からのセレクトです



豊坂小2年 古田 彩葉 さん



深溝小3年 神谷 咲良 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

四国語の時間

11月。つるべ落としに暮れた夕、すり傷だらけで帰って来たお兄ちゃんにおじいちゃん……
「また、えめぞんはまっただか。アマホだか知らんけど、ひんなつとるもんだん」

「また側溝にはまったのかね。アマホだか知らないけど、夢中になつていからだよ」
という意味です。

この「えめぞ」、「えめじよ」、「いみじよ」、「いみぞ」ともいうように、「みぞ(溝)」のことです。この「みぞ」が「めぞ」になるのは、理解できると思いますが、その頭に「い」とか「え」が付くのは、なぜなのでしょう。

「馬」の音読みは「マ」、訓読みは「うま」ですが、もともと日本には、乗馬の習慣がなく、馬を指す言葉もなかったそうです。大陸から馬とともに、「マ」という名称も伝わりましたが、当時の日本人の「m」の発音から「むま」に転じ、さらに「うま」に転じたことで、「梅」もかりです。「みぞ」も「m」で始まりますので、もともと「むみぞ」とあったのが、「いみぞ」に転じたと考えられなくもありません。

今年6月に道路交通法が改正されて半年になります。罰則が強化された自転車はもちろんです、歩きながらの「ながらスマホ」も事故のもと、絶対にやめましょう。

(文・つるべ)



青春
トークリレー
第272走者

おかざき あみ
岡崎 安美 さん

鷺田区在住 20歳 職業 学生
身長 158cm 血液型 A型
好きなタイプ 優しく一緒にいて楽しい人
好きな芸能人 玉森裕太

こんにちは。今年、私は20歳になりました。今まで、ここ幸田町で子どもとして多くの人に見守られながら成長してきました。幸田町は町全体に家族のような暖かさがあります。知り合いでも、そうでなくても「おはよう。いい天気だね。」や「暑いから気をつけるんだよ。」と言葉をかけてくださる度に、ここに住んでいてよかったと、さらに幸田町が好きになります。

今、私は大学で理学療法を専攻しています。今まで私を育ててくれたみなさまに、少しでも恩返しができたらと考えています。これからの幸田町を築いていくために努力していきたいです。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



「あつ、白ひの出し。」
「ふわふわの綿あめみたい。」
「花が咲いて、実がなつて、にんぽう使つて空飛んでみたい。」
と、言いながら子どもたちが、見ていたのは、綿の実がはじけた様子でした。
昨年十二月、兵庫県加西市宇仁小学校から風船が飛んできました。実際一緒にあるはずの綿の種はなく手紙だけだったので、手紙を書いたところ、

わんぱくだよ
「某月某日
大草保育園」

『綿の実がはじけたよ』

はじめ白い綿ができ、後から緑色の綿や茶色の綿もできてきました。インド綿



「綿の種は「コットン」の日に（五月十日）に蒔いてね。」という手紙と綿の種が送られてきて交流が始まり、それから年長組は教えられたとおり種時きやお世話をしました。それが、九月になって綿ができ始めたのです。



アメリカ綿の他、高麗綿、みどり綿など色々な種類があります。これらを収穫するたび、子どもたちは、驚いたり不思議そうに見ています。また、観察画を絵手紙にして、文通を続けています。
綿の種はとっても小さいのですが、風船が運んできてくれたものは、とっても素敵なものでした。

編集者のひびく

ある夜、2階の寝室で寝ていたところを奥様に叩き起こされまして、「下に何かいる…」と。確かに「バサバサ…」と変な音がするので恐る恐る見に行くと、部屋の中をコウモリが飛んでいました。じつはドラキュラ屋敷に住んでいる編集者のKです。今月はスポーツの秋ということで、北部中学校の陸上大会、小学校体育大会、保育園の運動会などにお邪魔してきました。
小学校の体育大会は自分も参加した古い記憶が。昨年もお邪魔しましたが、毎年、注目を浴びる競技が走り高跳びです。選手たちが順番に挑戦し、徐々にバーの高さが上がり、3回のチャンスで跳べなかつた選手は次に進めません。選手たちの数が徐々に減り、最後まで残った選手が大会記録を目指して挑戦を続けます。みんなの視線が1人の選手に集まり、会場は静まり返ります。そして、その選手は両手を揚げて手拍子を始め、オリンピックのように観客に手拍子を要求し始めた。…ら面白いな〜と思いがらシャッターを切っていました。大会結果の一覧を21ページで紹介していますので、ぜひご覧ください。
さて、11月22日（日）にハッピーネス・ヒル・幸田で、こつた産業まつりが開催されます。同日・同会場で健康福祉まつり、消防ひろばも開催されますので、ぜひご来場ください（K）